

はるかぜ図書館だより

つくば国際大学東風高等学校 図書館 2018年4月発行 No.1



みなさん、こんにちは！新入生のみなさんをはじめまして。進級・入学おめでとうございます。

いよいよ新年度がスタートしました。周りの環境が変わって、戸惑うことや、なんだか疲れたなあ…と感じることがたくさんあると思います。そんなときは休憩を取りながら、焦らずゆっくりと自分のペースでクラスや学校に慣れていって欲しいなと思います。みなさんが充実した学校生活を送れるように応援しています。

この『はるかぜ図書館だより』では今後、図書館からのお知らせや、新しく買った本・おすすめの本などを紹介していきたいと思っています。もしみなさんも「他の人におすすめしたい！」という本がありましたら、紹介文を書いて図書館担当者に渡してください。今後の図書館だよりに掲載させてもらおうと思います。作文の練習にもなると思うので、ぜひチャレンジしてみてくださいね♪

学生時代の本との出会いは、一生の財産になるはずです。何気なく手に取った一冊が将来を決めるきっかけになったり、本はとてつもない大きな力を秘めていると思います。ぜひ読書をしに図書館に足を運んでみてください。もちろん勉強やひと休みの場としてもどんどん活用してくださいね！お待ちしております。

図書館の利用方法について

開館時間

平日／10：00～19：00（自由に利用できるのは、休み時間と放課後）

※学校行事などの関係で変動があります。その際は図書館入口に掲示案内します。

貸出と返却

本の貸出はひとり三冊まで。期限は二週間です。

本を図書館外に持ち出す際は手続きが必要となります。身分証明カードを提示して、必ずカウンターの担当者に声をかけてください。返却の際も、本を直接書架に戻さないようにお願いします。

注意事項

・図書館内での飲食はできません。携帯電話・スマートフォンはマナーモードに設定し、室内での通話は厳禁です。いずれも守れなかった場合、退室してもらいます。

・自習の一環でリスニングのCDを聴いたり、教材用の動画を見る際は必ずイヤフォン等を使用し、周りに音が漏れないようにしてください。

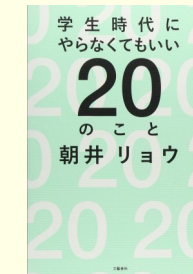
・その他…分からないことや困ったことがあったら、気軽に図書館担当者まで声をかけてください。



4月の お薦め

学生時代にやらなくてもいい20のこと

著：朝井リョウ



著者・朝井リョウさん初のエッセイ集。学生時代の思い出が面白おかしく書かれています。難しい話や面倒な理屈は一切ありません。ただただ単純に笑えます。

タイトルには「学生時代にやらなくてもいい」とありますが、学生時代だからこそできることがたくさん詰まっていたような気がします。ぜひ学生のみなさんに読んで欲しい一冊です。



HAPPY
EASTER!

担当者おすすめの本！



暗いところで待ち合わせ 著：乙一

【あらすじ】駅のホームで起きた殺人事件が、寂しい二人を引き合わせた。犯人として追われるアキヒロは、ミチルの家へ逃げ込み、居間の隅にうずくまる。他人の気配に怯えるミチル。奇妙な同棲生活が始まった…。

あらすじだけを見ると、不気味で怖い印象を受けます。だけど実際は、人が人を信じることの大切さや、他者の幸せを願うことの尊さみたいなものが描かれています。

人付き合いにちょっと疲れたとき、この本を読むと「やっぱり人との繋がりがいいものだな」と改めて思うことができます。心が温まる一冊です。

図書館にありますので、ぜひ読んでみてくださいね♪

担当者の自己紹介



図書館担当の滝本です。家に本がたくさんあったので、幼い頃から本に親しんできました。漫画も好きです。神社やお寺も大好きで、今年こそ京都に行くぞ！と秘かに燃えています。御朱印歴は四年目に突入しました。

趣味は文房具集め（特にマスキングテープ）です。あと今年は「趣味は野球観戦です」と言えるくらい、野球観戦もたくさんできたらいいなと思っています。

好きな作家は、乙一・川上弘美・恩田陸・森絵都・石田衣良・さくらももこ などなど。よく読むのは小説ですが、大人になった今でも児童文学が好きです。

みなさんにとって図書館が居心地の良い場所になるようにがんばります。どうぞよろしくをお願いします。



きりこについて 著：西加奈子



「きりこは、ぶずである。」という衝撃の一言で始まる物語。独特の文体できりこの人生について語られています。人間が容れ物と中身でできているとしたら、どちらがより『自分』を魅力的にするのでしょうか？外見と中身、そのどちらが『自分』という人間なのでしょうか？

きりこを取り巻く現実はとてもドロドロとしているのに、ほんの少しファンタジー要素も入っていたりと、読後感爽やかな一冊です。